

---

## 男女共同参画・若手支援委員会企画シンポジウム 自分推しキャリアを作ろう！アカデミアと企業で未来を描く

---

オーガナイザー：日本生物物理学会 男女共同参画・若手支援委員会

Organizers: Promotion of Gender Equality and Young Researchers Committee

日時：9月26日（金）11:40～13:10

会場：2階F会場

言語：日本語

昼食：お弁当とお茶を無料で提供いたします。ただし、数に限りがあります。

形式：パネルディスカッション

司会：藤原郁子（長岡技術科学大学）

発表者：石谷隆一郎（東京科学大学）、酒井崇匡（東京大学）、篠崎幹彦（三菱UFJキャピタル株式会社）、寺川まゆ（京都大学総合研究推進本部）

---

**概要：**近年、アカデミア（学術研究）と企業（産業界）の関係性は大きく変化しています。多くの大学ではURA（リサーチ・アドミニストレーター）の体制が整備され、産学連携による共同研究の促進や、大学発ベンチャー企業の増加といった動きが見られるようになりました。さらに、企業における博士号取得者の採用は増加傾向にあり、大学研究者を客員研究員や技術アドバイザーとして受け入れる企業も増えています。このように、研究・資金・人材といった多様な側面でアカデミアと企業の垣根が低くなる中で、双方の流動性が高まり、多様なキャリアパスの可能性が広がってきています。そこで本シンポジウムでは、アカデミアと企業の双方の視点と経験を共有することで、参加者の皆さまが自身のキャリアを振り返り、将来のキャリアアップを考える契機となる場を提供したいと考えています。

本シンポジウムでは、大学や企業での研究、ベンチャーキャピタル、URAなど多様なキャリアを歩まれた、様々な世代・性別の登壇者の皆さまに情報を提供していただき、パネルディスカッションを行います。それぞれの立場での経験や苦労、感じたメリット・デメリットなどをざっくばらんに語っていただきながら、これらの知見を融合し、アカデミアと企業の垣根を越えた未来のキャリア形成について考えていきたいと思っています。具体的には、以下の3つの観点を中心に議論を展開する予定です。

[1] 研究するならどっち？ 若手研究者への羅針盤：アカデミア vs 企業

[2] 大学研究者でも起業できる！ 大学発ベンチャー企業の実情

[3] アカデミア×企業の未来図 これから求められるものとは？

本シンポジウムでは、上記の3つの観点を軸に、パネルディスカッション形式で皆さまと共に議論を深めていきたいと考えています。アカデミアや企業の発展に貢献したいとお考えの研究者の方々はもちろん、今後のキャリア形成について考え始めている学生や若手研究者の皆さまのご参加も心より歓迎いたします。アカデミアと企業の特徴を活かしながら、自分推しのキャリア形成を一緒に考えていきましょう。